

# 東予高校 P T A だより

「朝の日差し」

P T A 会長 越智 浩二

保護者の皆様、東予高校での P T A 総会、東高バラ鑑賞会等の各行事に御参加頂きましてまことにありがとうございます。早いもので半年が経ちましたが、今年度より長男の卒業以来7年ぶりに会長を務めさせていただいております。

7年前に引き続き毎月初めの第一月曜日は「おはよう運動」と称して校舎正門にて生徒の皆さんに登校指導を行っています。校舎の東からは気持ちの良い朝日が立ちのぼり、一番早い生徒さんは7時30分頃には登校し「おはようございます！」と挨拶してくれます。しかしできない生徒さんもおおいです。

集団生活における挨拶は基本中の基本であります。若い時の学校生活は、社会に出る前の練習であり訓練の場でもあります。声に出せなくても、私や教職員には最低目礼はしましょう。お笑いタレントの松村邦洋さん曰く「挨拶にスランブなし」と言います。浮き沈みの激しい芸能界で長く生き残る事は容易ではありません。しかし彼を起用するプロデューサー、信頼するス

タッフは沢山います。それは業界の誰にでも隔たりなく挨拶を交わすという人として当たり前の事がちゃんと出来る人柄によることです。

二学期も始まり三年生の皆さんは進学、就職活動の時期がきました。人生の中でも大きな選択をしなければなりません。少子高齢化で労働力がどんどん減少している現在、企業は君たちの生活に責任持つ覚悟で採用を検討するのでそれに応える知識、技術力をもって就職試験に挑んで欲しい。そして進学、就職し会社に入った時に東予高校で学んだ事を存分に活かし社会に貢献出来るよう、保護者として見守りたいと思います。

今までもこれから

校長 渡邊 琴子

保護者の皆様には、平素から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。五月に新型コロナウイルス感染症への対応が改まり、教育活動も徐々に以前のカタチに戻りつつあります。学校行事の運営等にあつては三年間の間に失われたノウハウもあり、教職員も

随分苦勞をしておりますが、コロナ禍を経て新たな気付きもありました。今後も精一杯の教育活動に励む所存ですので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

今夏も生徒たちの活躍には目覚ましいものがあり、六月には弓道部が三年連続県大会団体優勝を果たして、八月に北海道で開催されたインターハイ「翔び立て若き翼 北海道総体二〇二三」に出場しました。

六月に開催された令和五年度第九回高校生ものづくりコンテスト四国大会（電気工事部門）では、電気システム科の三年生が見事優勝し、十一月に佐賀県で行われる、第二三回高校生ものづくりコンテスト全国大会（電気工事部門）へ出場します。

七月に開催された四国地区高校生溶接技術競技会では機械部の三名が被覆アーク溶接部門団体の部で優勝し、立派な優勝旗を持って帰ることができました。また、機械科の三年生がアーク溶接部門個人の部でも優良賞（三位）を受賞し、八月に開催された第七回全国選抜高校生溶接競技会（新居浜（溶接甲子園）への出場権を得て、被覆アーク溶接部門六位入賞の快挙を挙げました。

七月に開催された令和五年度高校

生ものづくりコンテスト愛媛県大会測量部門に、本校の建設工学科三年生六名（東予高校Aチーム三名、東予高校Bチーム三名）が出場し、Bチームが優勝、Aチームが準優勝することができました。二チーム揃って愛媛県代表となり、八月に開催された第十九回高校生ものづくりコンテスト四国ブロック大会測量部門へ出場し、東予高校Aチームが四国ブロック大会三位に入賞しました。

三科そろって、全国大会・四国大会等の上位大会への出場を果たし、数々の成果を上げたことは大変喜ばしく、工業教育の可能性の広がりを感じています。これも、保護者の皆様、地域の皆様の御支援あつてこそと、深く感謝しております。なお、全国大会出場については、校舎に懸垂幕も掲げておりますので、ぜひ御覧ください。

令和八年度に開校する新校においても、多様な工業教育の学びを展開する準備を進めております。本校は、今までもこれからも、西条市の産業を支える人材の育成拠点として、工業教育の充実に励んでまいります。どうぞ、変わらぬ御支援をよろしく願います。

## 三年間の空白を経て、野球応援解禁！

今年度の全国高等学校野球選手権愛媛県大会は、令和元年度(2019年)以来、久しぶりの声出し・吹奏楽応援 OK となりました。本校野球部も、7月15日の新居浜商業戦において、応援団の大歓声のもと存分に力を発揮してくれました。

そこで今回は、久しぶりの野球応援で感じたことや伝えたいことを、応援団長の野口禪君(B3)と、野球部主将の岡田晃弘君(R3)に語ってもらいました。

：初めての野球応援、いかがでしたか？

野) 野球応援もですけど、球場で高校野球を見ること自体が初めてだったので、興奮しました！特に、同じクラスの小早川君が打席に立った時、「頑張れ〜！」と叫んだら特大のホームランをかつ飛ばしてくれて、ムオーツ！ってなりました。岡田君がサードランナーで三塁に立った時も、リードする後ろ姿に迫力があって、かつこよかったです。

岡) 僕としても、学校の皆に応援されて野球をするのは初めてだったのですが、ピンチの時に、「頑張れ〜！」って聞こえてくる声力がになりました。最初は緊張もあったのですが、声援で吹き飛びました。

野) 応援の力ってすごいよね！

岡) ね〜！（二人で笑い）

：そもそも、どういった経緯で団長に就任したんですか？

野) 担当の財津先生に指名されて。僕も3年生で最後ですし、頑張るしかないと思って引き受けました。皆の前に出ることも、練習ではアレでしたけど、本番では恥ずかしいとかは一切なかったです。

：やはり応援があると違いますか？

岡) 野球に限らず、自分だけで耐えないといけないことってあると思いますけど、応援があると、そこで勇気もらえます。

野) そういつてもらえると(笑)。ただ、まだコロナの規制もあったので、もう少し声をそろえてやりたかったし、応援歌や声をそろえてのエールも送りたいかったので、これは来年以降の課題かな、と。やっぱりコロナが痛かったですね。

：お互いに伝えたことはありますか？

野) いやあ、とにかく3年間お疲れさまでした！去年岡田君が主将になってから、学校であつたら「主将！」って挨拶してんですけど、野球部は楽しそうで、かつ真剣さもあって。小早川君や那須君なんかは、大会前に「勝つ気しかせん！」って言って、良い感じだなあって思っていました。団長やって、逆に元気もらいました。

岡) こちらこそ、良い雰囲気であつて応援してもらって、大会前から全校の皆をまとめてくれて。響き渡る声援をありがとう。応援に来てくださった皆さんに、勝利は見せられなかったですけど、本当に皆さんにお礼をしたいと思います。ありがとうございます。他の部の応援にも、行ってみたいと思いました。

：来年の団長にアドバイスはありますか？

野) のど飴を持ってつたほうがいいですよ！ボイスがかなりしんどいです。あと、今年はできなかったけど、全員で声をそろえてやるコールができればお願いしたいです。校歌も応援も、みんなで大きな声を合わせてやってほしいです。あとは、気持ちで負けるな！ですな。強い心を持ってください。

：ありがとうございました！二人の今後の活躍にも、期待しています！

